

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和3年4月20日(火)
午前10時～午前11時20分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 副市長 柴田義晴
総務部長 中村定秋、総務部専門監 奥井博昭、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、教育こども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 秋田伸裕、同企画政策グループ主幹 小出健二、協働安全課長 小松浩、同市民協働グループ統括主査 須藤隆、行政課長 佐野剛、同行政グループ主幹 兼松英知、企業立地推進室長 西村忠寿、学校教育課長 近藤玲子、子育て支援課長 西井上 剛
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項
(1) 執行機関からの報告
① 5月臨時会に提出予定の議案について
各部長：資料に基づき説明。
【確認】
なし

② 令和3年度岩倉市新型コロナワクチン接種について
健康課長：資料に基づき説明。また、資料中、「4. 予約方法」に記載された電話番号は誤りで、正しくは「0120-056712」である。
【質疑】
榊谷議員：市内高齢者施設入所者及び85歳以上は何人か。また、85歳以上の入所者の場合、発送はどのようになるのか。
健康課長：昨日、85歳以上の方に郵送したが、人数は1,800人、市内の高齢者施設に入所している方は、施設に直接、接種券を配ったが、304人である。
片岡議員：キャンセル時はどうするか。ニュースでは廃棄となった事態もあったとも聞かれる。岩倉市での対応は決まっているか。

健康課長：検討中。

大野議員：3月定例会で、市内の協力医療機関は13との答弁であったが、12医療機関になった理由は。

健康課長：1か所は先生の身体的な理由による。状況が落ち着いたら協力すると聞いている。

梶谷議員：10の医療機関へ、どのように500人分のワクチンを運ぶのか。

健康課長：岩倉市分のワクチンとして500人分が確定している。その内、施設分は304人と出しているが、施設のほうで接種の計画。一般の高齢者には200人分が回せると考えている。最初なので、10の医療機関に平等に割り振る。ワクチンの配送は市で行う予定。

水野議員：希望者が多かった場合は、先着順か、抽選か。

健康課長：先着順。最初のワクチン供給量は少ないが、その後、到着が増えてくるので待っていただく。

梅村議長：85歳以上は1,800人とのことであるが、それ以外の年齢区分ごとの人数は。

健康課長：80～84歳は約2,000人、75～79歳が約2,600人、65～74歳が約5,800人。

関戸議員：500人分で一旦予約が打ち切られて、到着が確定次第また予約が再開されるのか。

健康課長：そのとおりである。

③第5次岩倉市総合計画第1次実施計画について

秘書企画課長：資料に基づき説明。

【質疑】

井上議員：曾野小学校の放課後児童クラブの場所は。

教育こども未来部長：学校敷地内を検討中。

木村議員：公用車購入事業のアルファードは議長車の更新か。

行政課長：現在の議長車のクラウン2号車の買い替えで、新規購入車が1号車、これまでのクラウン1号車を2号車に変更することで考えている。

④市制50周年記念事業の進捗について

秘書企画課企画政策グループ主幹：資料に基づき説明。

【質疑】

なし

⑤ S D G s 普及促進にかかる日本福祉大学との連携について

秘書企画課長：(資料なし、口頭説明) 令和元年 12 月 25 日に連携協定を締結したが、コロナ禍で連携事業の具体的な検討がなかなか進まないこともあったが、担当窓口である千頭教授と打ち合わせを行う中で、市民目線、学生目線で市民に対し S D G s の周知を進めることで一致し、現在詳細な検討を進めている。広報いわくら 6 月号に特集記事を掲載、市民に S D G s を広く知ってもらおうきっかけづくりとし、その後も連載として、大学生が主体となりアイデアを出しながら、継続して記事作りを進めていく予定。すでに、プロジェクトに関わる学生とオンラインにより意見交換し、広報 6 月号の特集記事の概要についても意見をもらいながら具体的な検討を進めている。今後は大学側の意向もあり、フィールドワークとして、S D G s に取り組む企業訪問によるヒアリングや、街角市民インタビューなどを、岩倉市内で学生に実施してもらいたいと考えている。その際の学生の交通費相当分や、周知用ポスターの印刷経費等を 6 月補正で予算計上していきたい。

【質疑】

なし

⑥ ふれ愛タクシー利用等共同調査の実施報告について

協働安全課長：資料に基づき説明。詳しい調査報告書は市 H P に掲載予定。

【質疑】

堀議員：アンケートの母体数は。

協働安全課長：379 人。

梅村議長：デマンド型乗合タクシーとの比較で、良くなっていないと回答された 28% の理由は把握しているか。

協働安全課長：利用料金が上がったためという理由が多い。

⑦ 行政手続における押印廃止の手続数等について

行政課長：資料に基づき説明。

【質疑】

堀議員：押印廃止できなかったものはどのように公表するか。

行政課長：具体的に何を廃止できなかったかについて、公表の予定はない。

廃止できなかったものとしては、契約書、請書、借用書、印鑑登録の申請書等である。

堀議員：表中の「その他」は何があるか。

行政課長：例規上に規定されていないが様式を定めているもの。

堀議員：具体的には何があるか。

行政課長：市民窓口課の事故発生状況報告等、根拠が要綱等に定まっていない様式について押印廃止した。様々ある。

黒川議員：引続き押印を求めるものの様式を一覧表で示していただければ良いのでは。

行政課長：押印廃止ができなかったものをまとめて報告できるようにする。

木村議員：押印廃止と直接関係ないが、行政書式の unnecessary 性別欄の整理はどうか。それも報告してもらえるといいのだが。

行政課長：性別欄が必要ないものは既に記載はないと考えている。残っているものは必要なものと捉えている。

⑧ 保育園・認定こども園の入園状況について

子育て支援課長：資料に基づき説明。

【質疑】

梶谷議員：待機児 2 名はどのような状況か。

子育て支援課長：1 名は一時保育を利用しながら、もう 1 名は育児休業を延長していただいている。

⑨ 小中学校児童生徒・学級数等について

学教教育課長：資料に基づき説明。

【質疑】

なし

⑩ 小中学校に関する行事等の日程について

学教教育課長：資料に基づき説明。

【質疑】

関戸議員：修学旅行について現時点での考えは。

教育こども未来部長：現在の予定としては、中学校については、5 月 17 日から南部中学校、5 月 20 日から岩倉中学校が、2 泊 3 日で行かせる予定。

行先は山梨県で、今のところ予定通り準備を進めている。ただ、小学校については、5 校とも京都・奈良を予定しており、一番始めに 5 月 20 日、21 日に南小学校が行く予定をしていたが、秋に延期することを決めている。日程は旅行社等と調整中である。6 月は東小、五条小、曾野小、北小と出かけていくが、今のところ実施の調整をしているが、状況によっ

ては変更もあり得る。

⑩その他

(川井野寄地区企業誘致事業について)

企業立地推進室長：資料に基づき説明。

【質疑】

黒川議員：業種は公表できるか。製造なのか物流なのか。

企業立地推進室長：業種についても伏せてほしいという依頼である。

宮川議員：搬入の際の安全確保はされているか。

企業立地推進室長：現時点では、企業団地の西側、愛北クリーンセンターとの間、野寄新道線という南北道の一箇所を搬入路として考えている。

宮川議員：通学路の関係で、下校時にはダンプの行き来があることが想定されるが、南小学校との協議は順調か。

企業立地推進室長：近くにある岩倉高校は自転車通学の生徒が多いとのことで、学校にはご案内している。南小学校についても、工程等がわかり次第ご案内する予定である。

片岡議員：内定企業について市としては把握しているかと思うが、岩倉市の優先希望に沿ったものか。

企業立地推進室長：市が審査会で優先度を付けたものを、ほぼそのまま企業庁が内定を出している。

木村議員：高齢者の散歩道でもあるが、3月定例会の際に質疑した危険な箇所はどうか。

企業立地推進室長：天保橋から北伸する岩倉西春線について、予算が付いた範囲内で工事を実施しているが、来年度には完成させたいと考えており、歩道を極力、早めに整備していきたいと考えている。

堀議員：どの程度、雇用が増える予定か。

企業立地推進室長：その点もお答えできない。

(2) その他

なし

10 協議事項

なし

11 その他

梅村議長：議会もさわやかエコスタイルキャンペーンに準じて、5月1日から10月31日の期間で行っていく。

もう一点、市の保有する計画の報告を調整していたが、今月は間に合わなかったため、5月に出来るように調整を進める。

木村議員：新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会で報告されていたような案件が、ワクチンについてなど全員協議会で報告されるようになっているが、今後は全員協議会で情報共有していくということによるしいか。

梅村議長：議案に関することもあるので、全員協議会でやっ払いこうとは思いますが、議会で決めたいことがある場合や、特に聞きたい情報があれば、特別委員会を開催すればよいと思っている。

木村議員：4月臨時会の答弁で、6月議会に補正予算を提案するとなっていたが、その辺の情報交換をして、交付金の使い道について話し合う場を設ける必要があるのではないか。

梅村議長：必要があれば正副委員長に依頼をしていただき、委員会を開くことになるが、定期的に関くこういった会議もあるので、タイムリーに報告を頂きながら進めていきたい。